

2023年（令和5年）1月
進昭化成工業株式会社
代表取締役 伊藤昭雄

当社のDX方針

1. デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響

最近の社会動向において、100年に1度の自動車革命が起きています。

同時に、DXの重要性が高まっています。

デジタル技術が当社の企業競争環境に及ぼす影響を考慮して、

DXに関する取り組みを強力に推進します。

このため、経営ビジョンを明確にし、DX戦略を策定するとともに、

DXに関する組織、体制などについて方針を定めましたのでお知らせします。

2. 経営ビジョン

社会のデジタル化は前提となっており、当社が置かれているプラスチック

射出成型製品製造業の分野においてもデジタル化の推進は必須となっています。

このような環境の中、当社は、DXを経営の最重要課題として取り組みます。

- ・長年の実績と経験
- ・優れた溶着技術
- ・ニーズに応える充実した設備
- ・DXの積極的な取り組み

3. DX戦略

事業のデジタル化を推進し、業務の効率化や生産性の向上を図ります。

システムによる生産管理全般のレベルアップとペーパーレス化やIoT化の
推進を図ります。

DX化の実現を通して、関連する取引先、従業員、地域社会に貢献します。

4. 推進体制（組織、CIOの配置）

経営者の下にDX推進担当を設置して、業務へのデジタル化やプラットフォームの
構築を推進します。

IT技術動向、AI技術、業務改善、情報セキュリティなどに取り組みます。

社内各部門にDX推進ができる人材の育成を図ります。

以上